

松嶋夜話 卷之下 34

〔原文〕學字有臨摹硬黃響搨之四法

〔訓読〕字を學ぶに、臨、摹、硬黃、響搨の四法有り

※臨・摹・硬黃・響搨…文字の複製方法

〔原文〕置紙於旁

〔訓読〕紙を旁に置きて

〔原文〕如臨淵並於字字摹者曰臨之

〔訓読〕淵に臨むが如くして字字を並べて摹す者を、之を臨むと曰ふ

〔原文〕又以紙覆本字之上

〔訓読〕又た紙を以て本字の上を覆って

〔原文〕向明窓下映其景光

〔訓読〕明窓下に向いて其の景光を映す

〔原文〕闕闕本字大小形勢

〔訓読〕本字の大小の形勢を闕闕し、

〔原文〕不左毫釐之差

〔訓読〕毫釐の差を左(か)へず

〔原文〕寫之者曰響搨

〔訓読〕之を寫す者、響搨と曰ふ

〔原文〕今人之印本以搨寫之布紙寫之字爲臨寫之義者不的也

〔訓読〕今人の印本に搨寫の布紙に寫すの字を以て、臨寫の義と為る者は的たらず

〔原文〕乞臨于墨池者知之

〔訓読〕乞ふ、墨池に臨む者は之を知れ